

ディスレクシア
当事者として
図書館に期待すること

2022年12月7日

小澤 彩果

特定非営利活動法人支援技術開発機構(ATDO)

今日の話題

1. ディスレクシアについて
2. 私の困難とそれをどう乗り越えてきたか
3. 残された課題
4. 現在の活動
5. 最後に：私からのメッセージ

1) ディスレクシア
について

きのこが、こうやらかえりとはかあちんかさかい
まのきたのまれました。

「きょうはばちんがいられぬのでわが、さあ
でおまじゅうき6コか、てきてさようだい。

そのついでにスーパーでニンジンとタマネギとじ
ゃが、もをかつてきてさようだい。きょうはみん
なのだ、いもきなカレーにするぞ。」

かいまのか、かえって、たしはし、くださいす
ませた。

きのう、がっこうからかえると、おかあさんから
かいものをたのまれました。

「きょう、おばさんがこられるので、わがしやさんで
おまんじゅうを 9コかってきてちょうだい。

そのついでに、スーパーで、ニンジンとタマネギと
じゃがいもをかってきてちょうだい。きょうは、
みんなのだいすきなカレーにするわ。」

かいものからかえって、わたしはしゅくだいを
すませた。

私の場合の読み困難

は ゃ り
は の り

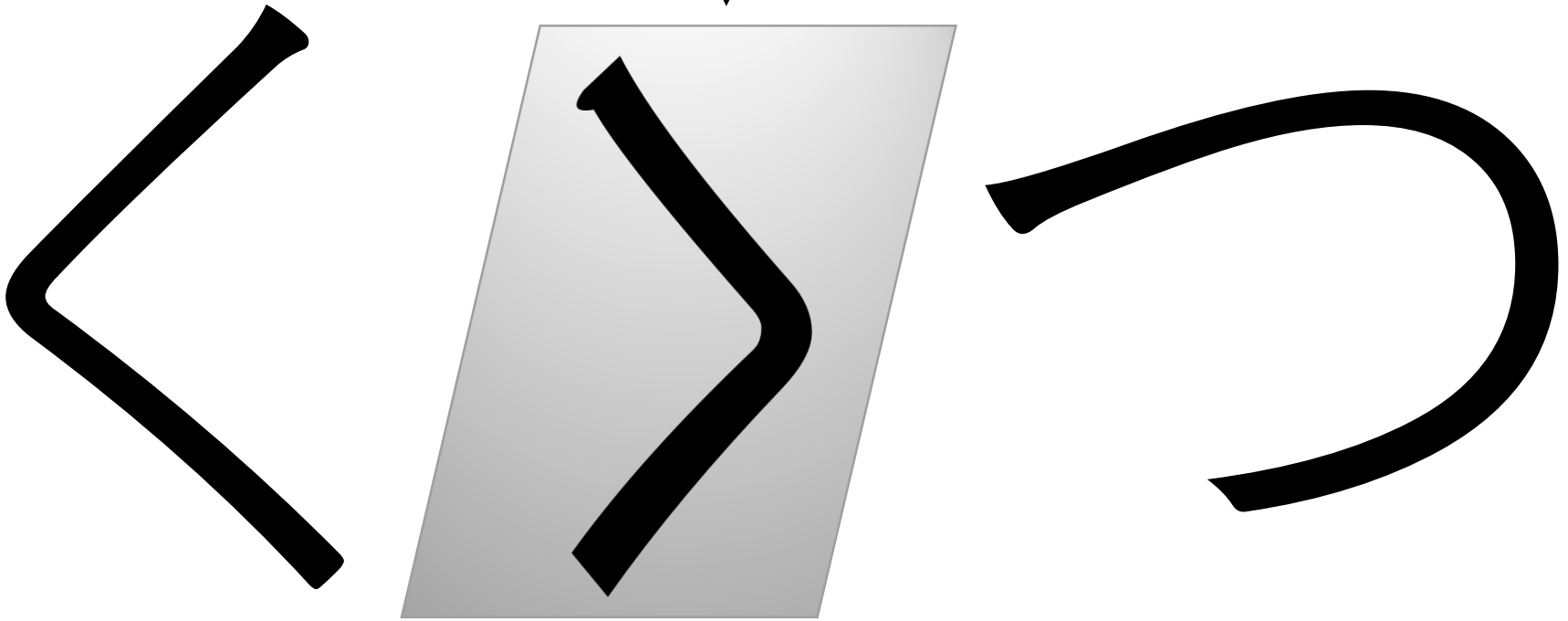
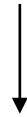
お

お

ち

ち

鏡文字



文字を長い間見ていると ピントが合わなくなる

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとな
にぬねのはひふへほやゆよわをんあいうえおか
きくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひ
ふへほやゆよわをんあいうえおかきくけこさし
すせそたちつてとなにぬねのはひふへほやゆよ
わをんあいうえおかきくけこさしすせそたちつ
てとなにぬねのはひふへほやゆよわをんあいう
えおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬね
のはひふへほやゆよわをんあいうえおかきくけ
こさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほ
やゆよわをんあいうえおかきくけこさしすせそ
たちつてとなにぬねのはひふへほやゆよわをん

絵本の頁を読むのに、小学校2年生の夏、10分 かかった！←両親が私の読み困難に気づく！

「たまごだけじゃ、できないわよ。」

「さあ、いきなさい。とちゅう、みちくさなんか、しないようにね。」

「わかってるわよ。」

「おぎようぎよくして、おじいさまにあつたら、ちゃんとおあいさつしてね。」

「わかった。」

「ごあいさつのまえに、家の中を、きよろきよろ見まわしたりしないのよ。」

「わかった。」

わかったさんは、かごに入れた、たまごを七こもって、そとに出ました。ワゴンにのりこみました。

「だけど……。なんだか、どこかで、きいたような……。」

まどのそとで、へいたいさんが、

「東は、こつちですよ。まっすぐ

いけば、森です。」

といました。

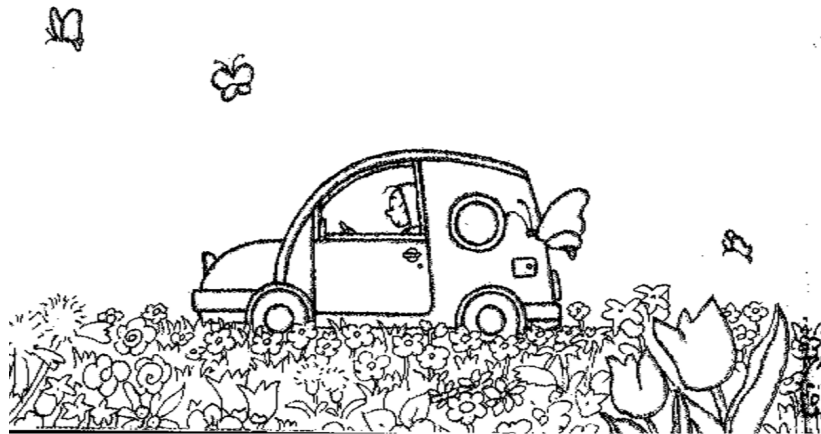
エンジンをかけて、アクセルを

ふんで、はっしゃして、ブイーン、

ブルルン、すすんでいくと、花

ばだけがひろがりました。

と——。



「わかったさんのクレープ」

作者：寺村輝夫、絵：永井郁子、発行所：あかね書房

2) 私の困難と
それをどう乗り越えてきたか

2-1) DAISY教科書

との出会い

自己紹介

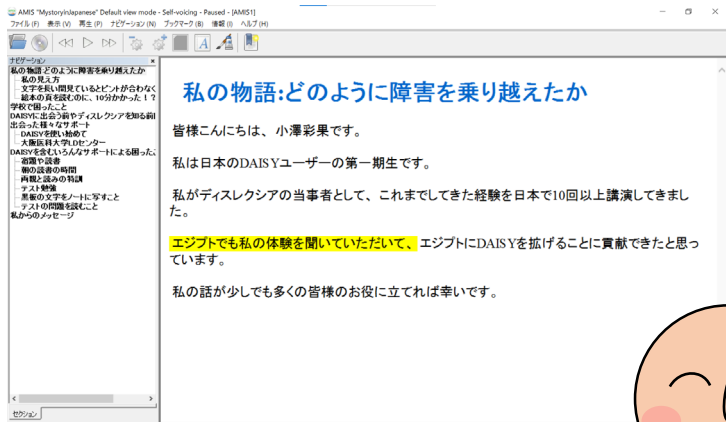
- **DAISY教科書第1期生**
- DAISYとの出会いは、2007年11月ごろ、
小学校5年生の冬
- 「DAISY教科書の有効性に関する実証研究」
(ATDO) のモニターとして活動
- その後、中学生までモニターを継続
- 高校は、DAISY製作ソフトのモニター
- 大学・大学院でもDAISYを活用
- 現在、ATDOでDAISYに関わる仕事をしている

DAISY/EPUBデモ

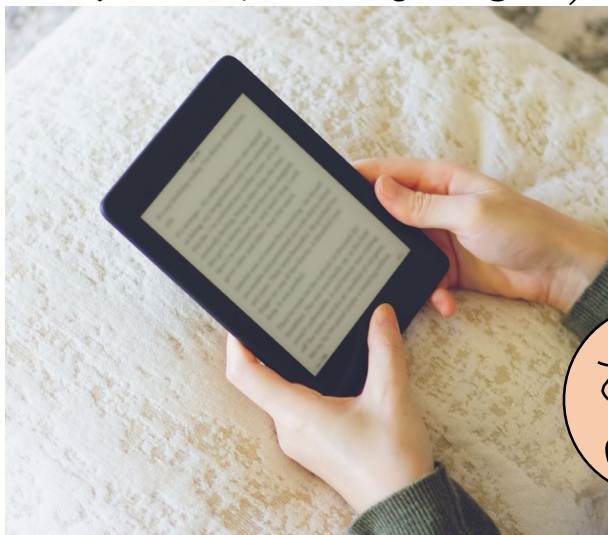


Thoriumを使ったDAISY/EPUB再生

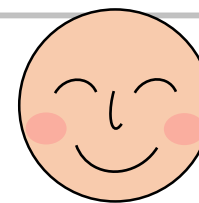
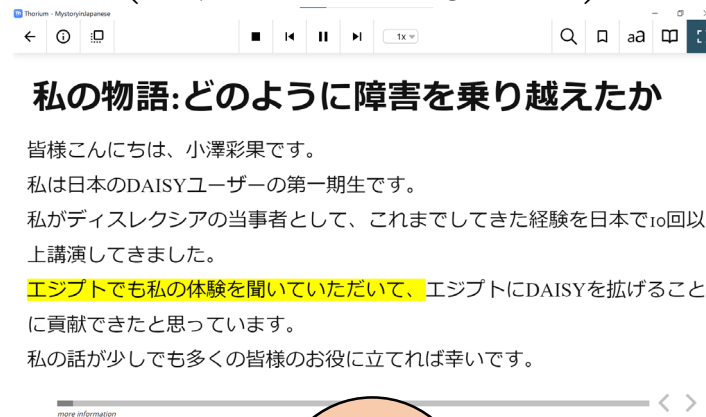
DAISY



EPUB (EPUB3になる前の アクセシブルでないもの)

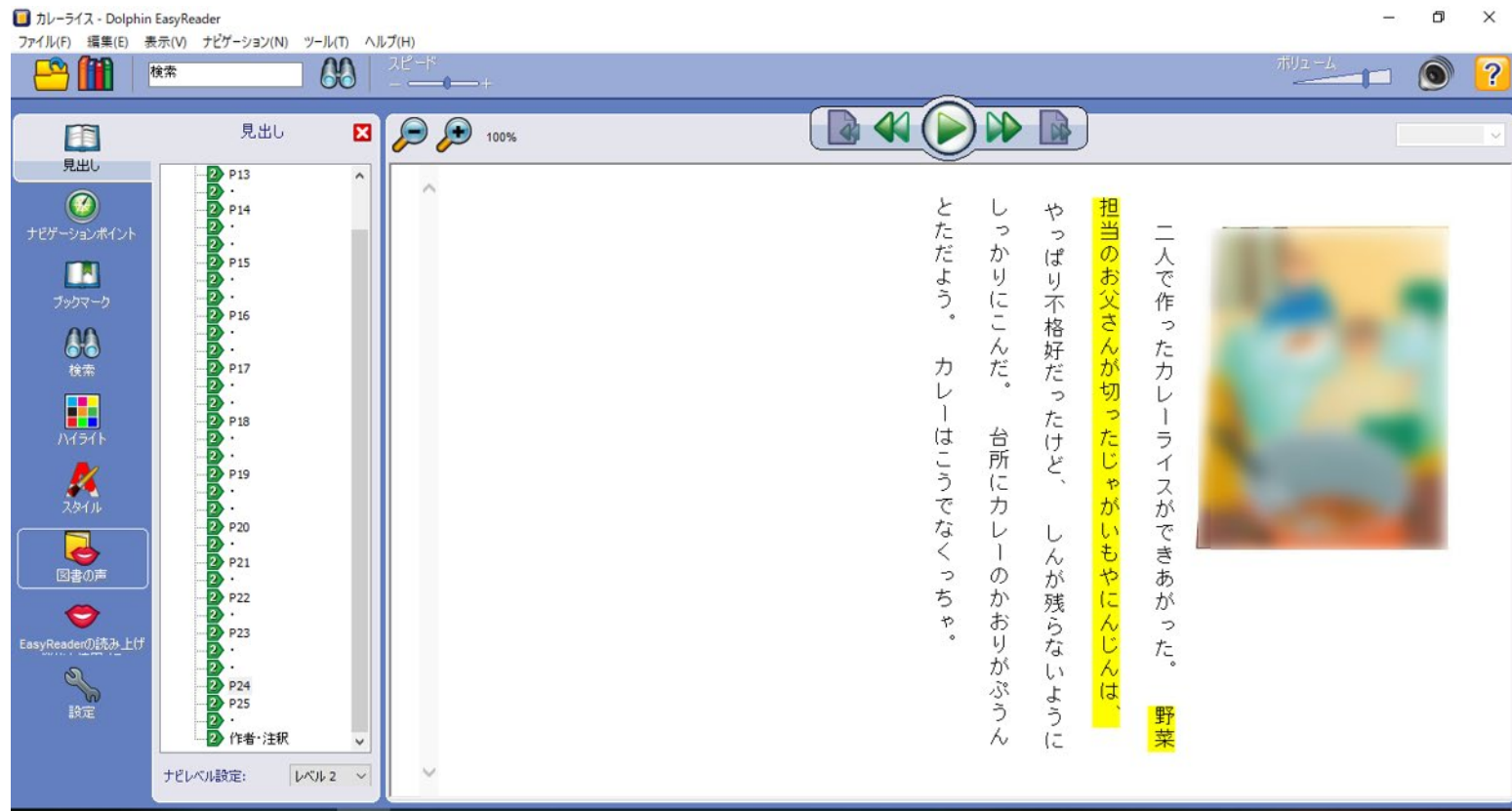


EPUB3 (アクセシブルなEPUB)



再生・一時停止

NPOのNaDからサポートを受け、2007年12月
からDAISYを使い始めた
日本では、教科書バリアフリー法が制定後、
リハ協と製作団体の協力により、
DAISY教科書が利用可能になりました



私のDAISY教科書の使い方

小学校（5, 6年生）

国語でのみ利用

中学校（1～3年生）

国語、社会、理科、英語で利用

小学校時代は、毎日、読みの宿題で**DAISY教科書**を活用

中学生になると、上記の各科目で**DAISY教科書**は期末試験の準備に不可欠となる

2 - 2) DAISY教科書を
利用してよかった点

私にとってのDAISY教科書の利点

- DAISY教科書によって漢字の読み方が理解できた
→日本語で漢字はたくさんの読み方がある

例えば

今日は= こんにちは, きょうは

- 教科書の各単元の内容理解が早く簡単にできた
- DAISY教科書は、語彙力アップにも貢献した
- DAISYでは、文字と音とが対応しているため、その利用のたびに、脳を刺激し、読み能力がある程度改善されてきた

DAISY教科書の重要性

- DAISY教科書に接することで、もっと本を読みたいと思うようになった
 - 少しずつ自力で勉強できるようにもなった
 - 今までできなかったことにもチャレンジする積極性が育った
 - 次第に定期試験の結果も、良くなっていた
- ⇒ こうしたことが、自尊心の涵養に繋がった！

2 - 3)

DAISY教科書以外の
支援について

大阪医科大学LDセンター

- 小学校3年生から6年生まで隔週でLDセンターに通った
- 「弱点を無くすことが目標ではありません。強いところを伸ばして、弱点をカバーすることが私たちの目標です」 → 障害観の転換！

LDセンターでのトレーニング

- 間違い探し (**注意力のトレーニング**)
- 文章と内容の誤りを修正する (**自己修正能力**)
→先生は足りない文字や余分な文字があることを助言
- 四コマ漫画にストーリーをつける
(**想像力、説明力**)
- **時間やスケジュールを管理**
- Wordソフトで書く (**自分で文章を書く力、コンピューターリテラシー**)
- **辞書を引く力**

母親の読み支援

- 音読の宿題については、母親と一文ずつ、**交互に読み**をし、1回読んだことにした
- 授業で当たった時、覚えていたので対応できた
- 漢字のルビふりは、ひらがなの方が読みにくかったなので、やらなかった
- 母親が**読み聞かせ**もした（読書量を補うため）
- 大学生の**家庭教師**（週3回）は、3年生まで
- 4年生から中学3年生は、**塾**（週3回）
→この塾で、ノートの取り方が変わった！

サピエ図書館

中学生時代、サピエ図書館でハリーポッターという素晴らしい本に出会うことができた！

音声DAISY版しかなかったため、紙の本と音声DAISYを同時に使って自力で読みました



日本ライトハウス情報文化センター

- 著作権法37条第3項に基づき、このセンターが高校のDAISY教科書を作ってくれた
→ 高校教科書は分厚く、この支援にはとても助けられた

The screenshot shows the Dolphin EasyReader interface. The main window displays a page from a DAISY textbook titled "1. 多様な生物の共通点" (Common points of diverse organisms) and "A. 生物の世界の見方" (How to look at the world of organisms). The text discusses the diversity of plants and their common characteristics. A yellow highlight is visible on the text: "生物の特徴である多様性と共通性^{いっしょ}を見ることができる。" (We can see the diversity and commonality^{together} as characteristics of organisms.) Below the text is a caption "図1. アブラナの仲間" (Figure 1. Relatives of Arabidopsis) and a blurred image of various plants. The software interface includes a menu bar, a search bar, a navigation pane on the left, and playback controls at the top.

大学生になってからの 自立的対応

★自分でDAISY化・音声化して読めるようになった

→「自立」できている

- DAISY化は以前より簡易化されている
(Plex Talk Producerなどの利用)
- WebやMicrosoft wordもコピー & ペストでDAISY化
- スクリーンリーダの利用
= Mac, iPhoneなどMacOS,iOS (Voice over)
= Android (TalkBack)
= Windows (NVDA)
- スキャンされたものをOCRでテキスト化

ゲスト モードでブラウジング中

このウィンドウで開いたページはブラウザの履歴に記録されません。また、開いているゲストウィンドウをすべて閉じると、Cookie などのデータはパソコンから消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルは保持されます。

[詳細](#)



スクリーンリーダ等(合成音声)による読書について

- スクリーンリーダで文書を読む場合や、また出版されてからすぐに読みたい人のために作られたテキストDAISYでは、読み間違いがある
→読みを間違っ覚えて覚えることでコミュニケーションがうまくできないことがある
- 登場人物の名前を読み間違える
→話を共有するのに毎回その人物がどのような背景を持つ者なのかから話す必要がある
- 専門用語を読み間違える
→違うように覚えていて恥ずかしい思いをする。

ちょっとした配慮 少し困ったときの対応

- 授業中に配られたプリントを黙読
 - 時間が区切られると、最後まで読めない
→話し合いに参加できない
 - 先生が、音読してくれる
→話し合いに参加できる
- 黒板の文字をノートに写す
ノートを取る時間から
先生の話聴く時間
- 長めの文書を見せられた時の対応
 - 友だちに読んでもらう
 - じっくり時間をかけて読む
 - 分かったふりをする

3) 残された課題

DAISY教科書配布の問題点

- ディスレクシア児童生徒の全員がDAISY教科書を使用できているわけではない
(媒体の認知と支援対象の把握の問題)
- 特に高校教科書は、まだ、ほとんどDAISY化されていない
- 教科書以外に副読本も教育では重要になるが、ほとんどDAISY化されていない

定期試験と入学試験 における問題

- 小中学校の場合はテストで特別な配慮を受けることができなかった
- 高校では、試験時間は**1.3倍**、試験用紙は2倍拡大、別室受験という特別配慮があった
 - 試験は**DAISY化**されていない！
- 大学センター入試(共通テスト)も含め、入学試験の**DAISY化**は実施されていない

大学の対応

- 入学前から、大学側に配慮を申し入れた
 - しかし、情報系学部の動きは鈍く、
1回生の前期の試験配慮は不十分だった
 - ようやく1回生後期から、**試験配慮（PC読み上げ、用紙拡大、時間延長、別室）**が実施された
- 障害学生支援室スタッフの当初の印象
 - 大学には、そもそも、ディスレクシア学生はいないと思っているように感じられた
- 図書館による支援 = **図書・配布資料のデジタル化**
 - しかし、十分とは言えない

4) 現在の活動

現在の私の活動

主に

- DAISY/EPUB製作・講習・普及活動
- JDC技術委員会の参加
- 講演会活動 ...など

ATDOのホームページ

URL：<https://www.atdo.jp/>

仕事上での困難と対策

- 長文のメールを読む、書類を読む場合
→スクリーンリーダーで対応
- 紙ベースの媒体を読む場合
→スキャン+OCRと、スクリーンリーダーで対応
- 文章作成際の誤字脱字の確認
→スクリーンリーダーで読む、周りの人の確認
- 紙で配布されたもので、元データがあるものを読む場合
→そのデータをもらい、スクリーンリーダーで対応

得意なこと・活かせること

(当事者からの目線、ユーザからの体験)

- DAISY/EPUB再生ソフトの検証
- DAISY教科書の製作
- JDC技術委員会への参加
- 講演会 ...など

(情報系学部での経験、ユーザからの体験)

- DAISY講習会 ...など

(情報系学部での経験等)

- ATDOHPの作成と更新
- PCに関わること
- Excelのマクロ作成 ...など

5) 私からのメッセージ

国立国会図書館のサービスを通して感じたこと

(視覚障害者等用データ送信サービス)

- Webページから基本情報を登録
- 本人確認書類と、通常の活字の印刷物の読書が困難であることがわかる書類の提出
(メールでも可能)

< 国立図書館のサービスを利用しての感想 >

- 診断書や障害者手帳がなくても、使えるようになることを望む
- CDまたは、データで提供されたDAISYを読むことができる
- 近隣の足を運べるところで受け取りたい

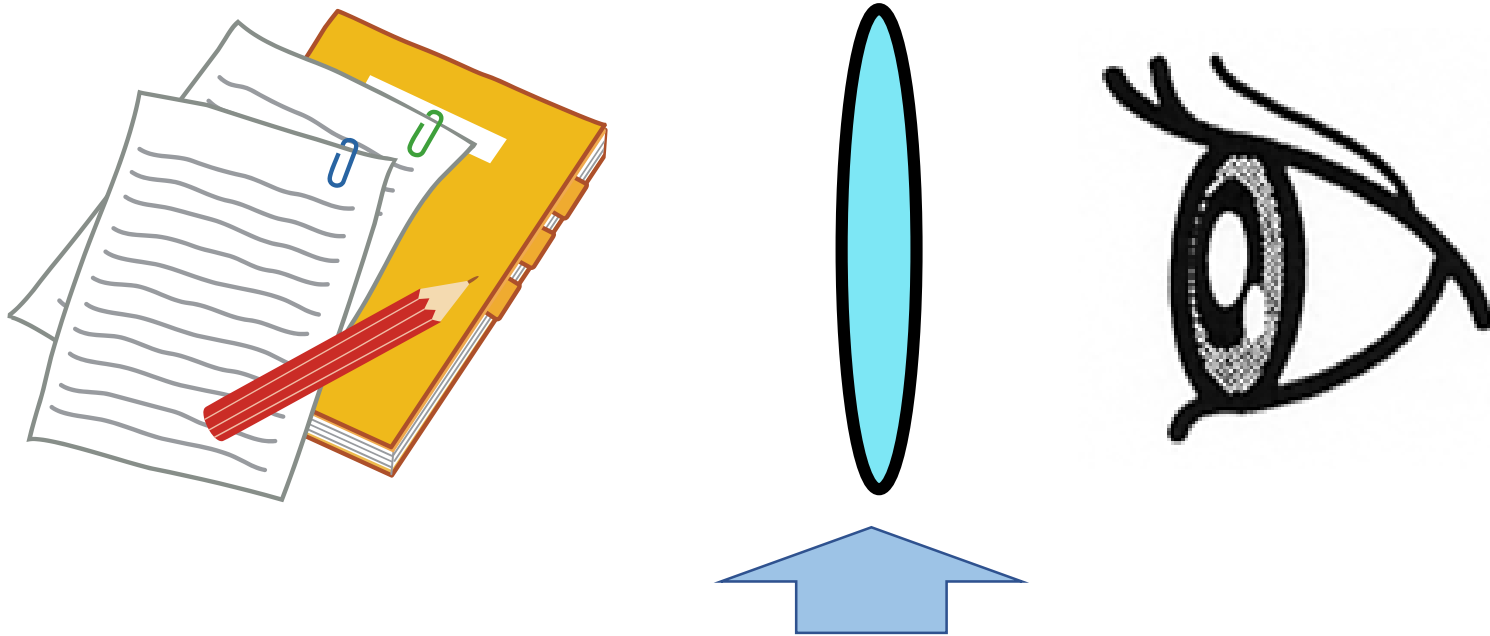
図書館に期待すること

- 同じように困難を抱えている子供たちがいることを知る機会の提供
- 地域の学校と連携して、子供たちが当たり前をサポートを受けられる環境づくりのための情報発信
- DAISYや、アクセシブルなEPUBの再生方法を当事者や親、学校の先生たちに教える
- 図書館で、アクセシブルな形で出版された図書も借りられるようになる



より誰も取り残さない社会に近づく

眼鏡をかければ、 見れる、読める、学べる！



DAISY + ICTインフラ + 環境 (両親の姿勢、
先生の姿勢と技術、支援者) + 社会政策

- 私の場合、幸運なことにDAISYや他の要素の絶妙な組み合わせに支えられ、大学院にまで修了できた
- 現在、ディスレクシアに理解ある環境の中で、DAISY普及に関わる活動をしている
- 実感的にDAISYの有効性を理解できた最初のDAISY世代といえるかもしれない
- DAISYを使うことで、「勉強が楽しい、もっと学びたい。」と思ってくれる人が増えることを望む
- 障害が障害と感じない世の中になるように貢献したい